



明治から昭和の生駒のくらしを次の世代に伝える 調査報告書『生駒むかしばなし～人々のくらし～』を発売

生駒市教育委員会は、生駒市文化財調査報告書第37集『生駒むかしばなし～人々のくらし～』を発売しました。

この調査は、平成27年度に生駒の昔ばなしプロジェクト（生駒の昔話・伝説調査）として開始しました。いわゆる“物語”ではなく、くらしにまつわる習わしや人々の交流によって伝えられた話、社寺の由来や歴史の出来事など、生駒の先人のくらしの中の喜怒哀楽がそのまま感じ取り、時代背景や娯楽文化などを浮き彫りにした、“むかしのはなし”を伝える貴重な記録です。

■ 目的や効果

現在生駒市内に残っている歴史・風土・民俗が、急速な都市化や世代交代により、近い将来消滅する恐れがあります。今回初めてボランティア調査員11名の協力を得て、市教委、民俗研究者、市民ボランティアの協働で文化財調査を実施し、人々の記憶から消え去ろうとしている伝承や風習などの貴重な文化遺産を、市内全域の古老から聞き取りました。

この本を通して、大人が改めて生駒のむかしを知り、次代を担う若い世代に伝えていただくことをねらいにしています。

■ 調査報告書の活用

- ・生駒市広報紙「広報いこまち」で連載
- ・同記事を生駒市デジタルミュージアムに掲載
- ・市内5図書館・室に所蔵

■ 本の概要等

◇販売場所 生駒市役所3階生涯学習課、生駒ふるさとミュージアム（生駒市山崎町11番7号）

◇定 価 1冊1,000円

◇内 容 B5モノクロ版136頁（口絵カラー4頁、地図入り）

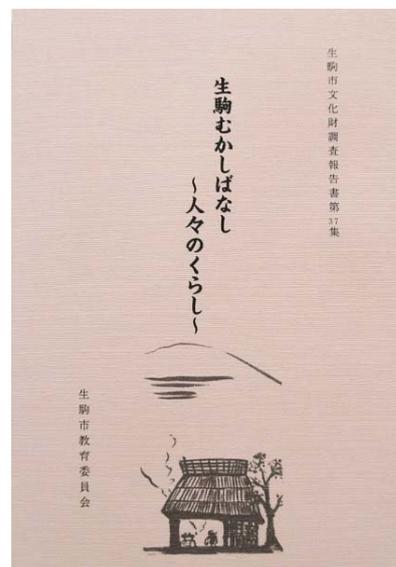
生駒市域の28カ所に住む古老から聞き取った話を、くらし、なりわい、信仰、俗信、昔話・伝説、こわい話・不思議な話、わらべうた・遊び、年中行事、人の一生をテーマごとに所収。役行者伝説などの過去に採集された話で著名な生駒の伝説も紹介しています。

◇年 代 明治～昭和30年代頃（項目によっては、江戸時代頃）

◇調査期間 27年度：調査、28年度：調査・編集集約作業、29年度：補充調査・編集校正

◇調査員 今木義法さん（生駒市文化財保護審議会会長）、中谷八榮子さん（同会委員）

◇発行部数 400部



この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市教育委員会生涯学習課（課長 向田、生涯学習文化係 玉田）・0743-74-1111（内線646）